

中部サイエンスネットワーク 第3回防災・減災ワークショップを実施しました（2021/7/31）

テーマ：逃げる行動、科学と生活
場 所：静岡県地震防災センター

2018年1月に当研究所と連携協定を締結した（公財）中部科学技術センターと静岡県地震防災センター、静岡大学防災総合センター、そして当研究所の四者が主催した第3回防災・減災ワークショップが、7月31日に静岡県地震防災センターで開催されました。

第一部として、当研究所保田真理プロジェクト講師（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）から、東北大学減災教育「結」プロジェクトの中から地震・津波のメカニズム、静岡大学防災総合センター原田賢治准教授から静岡県の災害に関する講話を聞き、聞いて学ぼう。第二部は体験してあそぼうとして、静岡県地震防災センターの展示・体験ブースをグループで回りながら、防災・減災スタンプラリーを体験しました。日本技術士会静岡県支部の会員がブース内で説明員としてサポートし、静岡大学の学生が各グループのファシリテータとして進行してくれました。第三部では、講座全体から学習したことを振り返り、このワークショップで初めて学んだことや周囲と助け合いたいこと、友人に伝えたいことをグループで話し合い、グループごとにプレゼンテーションを行いました。29名の児童や生徒を含む59名が参加し、防災・減災を自分たちの視点で見つめ、家族の安全対策をじっくり考えるイベントとなりました。

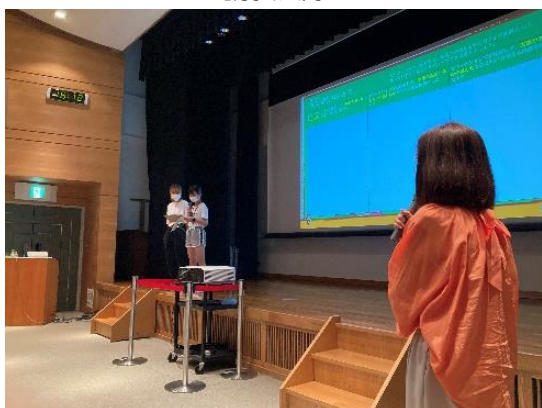
新型コロナ対策として、参加者を静岡県内に限定し、登録時に連絡先の把握をし、当日は連絡先の確認と検温を実施し、参加者全員がマスク着用をしました。入館時と移動時には必ずアルコール消毒をすることを徹底し、座席は1席おきにする、移動は密にならないようグループ分けして行動するなどの工夫をしました。参加者からは、災害は多様だと知った、家族のコミュニケーションを密にして災害に備えたい、との感想が述べられました。



講義風景



グループ内意見交換



プレゼンテーション風景



スタンプラリー風景